



湖国が滋る・水と緑の街づくり

平成29年12月1日発行 通巻263号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- 2
- ・受賞報告 知事表彰 森川和彦氏
- ・まちづくり委員会
- けんせつフェスタしが開催案内
- ・総務企画委員会
- 建築関係五団体合同年賀会のお知らせ
- ・第3回 くらしとすまいをみつめる地域にある気候風土に適應した住宅を造るために 報告
- ・ヘリテージマネージャー支援委員会..... 3
- 平成29年度第4回「滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座」報告
- ・総務企画委員会..... 4
- 総合図作成の講習会案内
- ・青年委員会
- 次世代育成事業 ～パスタブリッジ安曇川に未来の橋を架けよう～ 事業報告
- ・青年委員会..... 5
- あーき塾 まち歩き事業
- ～ Around Shiga vol.1 甲賀～ 報告
- ～ Around Shiga vol.2 長浜～ 報告
- ・地区だより..... 6
- ・地区だより..... 7
- ・情報広報委員会
- フォトコンテスト開催案内
- ・ポリテクカレッジからのお知らせ... 8
- ・地区別会員数
- ・12月の暦
- ・滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて第18回
- 株式会社岡村本家(犬上郡豊郷町)



株式会社岡村本家 九番蔵

岡村本家は、近江鉄道豊郷駅から徒歩約20分、犬上郡豊郷町吉田にある安政元年(1854年)創業の酒蔵である。彦根藩士であった岡村家の7代岡村太内が藩主井伊直弼より酒造りを命じられ8代岡村多内が創業。当時井伊家の領土であったこの地は、鈴鹿山系の豊富な名水が湧き、良質の近江米の産地であり、寒風という酒造りに大変恵まれた環境を活かし、2年の歳月をかけ酒蔵を建築したという。これまで盛衰があったものの現在は年間10万人が訪れる人気蔵となった。

写真は昭和9年に建てられた九番蔵と呼ばれる木造蔵である。昨年の屋根の葺替、外壁の修理により美しく蘇った。内部は1階が貯酒庫、2階が物置である。当時からいち早く低温貯蔵の必要性を察知し壁内に粉殻等を施した断熱仕様となっており、内部は冷房が効いてとても涼しい。計画では現在別の蔵で行われている酒の仕込みをこの蔵に移す大規模な改修を来年から行う予定という。手間をかけた手造りを大切にしており、生産性の安定化を図るため夏期を除く3期醸造を目指しているそうで、作業の効率化、酒質向上のための改修はとても楽しみである。

岡村本家のこだわりは昔ながらの手間暇かけた手造り。蒸しは甑(こしき)、麴は箱麴、小仕込み、搾りは木罌袋搾りを今も大切にしている。個性的で高品質な少量生産を進めた近年、最盛期の面影残る木造酒蔵はタンクを運び出し、直売店、ギャラリーやホール、カフェなどに転用し古くて新しい試みは多くの客を呼び、蔵としての魅力は他蔵の追従を揺るさない。

(前谷吉伸)

建設事業功労滋賀県知事表彰 受彰おめでとうございます。



平成29年11月1日(水) 滋賀県庁にて
平成29年度建設事業功労滋賀県知事表彰があり
本会会員 森川和彦氏(大津地区)が受彰されました。



森川氏は昭和58年に本会に入会され、理事を5期9年1月務められ、平成27年度より大津地区委員会委員長として、持ち前の責任感と行動力により、会員の増強や組織の強化に取り組まれ、会の健全な運営に尽力されました。それら建築士の地位、技術の向上に尽力された功績が評価されました。受彰を心よりお祝い申し上げ、氏の益々のご活躍を祈念いたします。



まちづくり委員会

けんせつフェスタしが開催！

台風の影響により延期となっておりました「けんせつフェスタしが」の開催が決定されました。このフェスタは地域社会の安全・安心を担う守り手としての建設産業を広くお伝えすることや、若者に建設業の魅力を発信することを目的として、今年度で3回目の開催となります。

(公社)滋賀県建築士会は主催者の構成団体として参画し、ブースでは建築相談やDIY(簡単な木工)を通して物づくりの楽しさを感じていただき、将来の職業としての「建築士」の認知向上を目指します。ぜひ、お立ち寄りください。

日時：平成29年12月16日(土) 10:00~15:00 (小雨決行)

場所：大津港前イベント特設会場

主催：滋賀県建設業魅力アップ実行委員会

総務企画委員会

建築関係五団体合同年賀会のお知らせ

●開催日：平成30年1月12日(金) 受付：15:30~ 年賀会：16:00~

●場所：クサツエストピアホテル ●会費：5,000円

※詳細は月刊「家」11月号同封案内書をご覧ください。

第3回 くらしとすまいをみつめる 地域にある気候風土に適応した住宅を造るために

パッシブデザインの基礎を知り、省エネルギーな暮らしを
提案するために必要な設計手法と事例を学ぶ

再度ご案内です！



講師 豊田保之(とよだやすし)氏

主催・企画／近畿建築士会協議会女性部会

日時：平成30年2月10日(土) 13:30~15:45

開催場所：日本綿業倶楽部(綿業会館) 大阪市中央区備後町2丁目5番8号

参加費：1,000円(建築士会会員)、1,500円(一般・会員外)

申込締切：平成29年12月20日(水)

※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/>【参加申込】からお申し込み頂けます。

詳細は月刊「家」11月号、又は滋賀県建築士会HPをご覧ください。

平成29年度第4回「滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座」報告 ～前半講座を終え、いよいよ佳境に入る～



開講式

本年講座の報告（開講式～第6回講座まで）

開講式・第1回講座 開催日：平成29年8月26日

大津市勤労福祉センター

本年の開講式は建設会館改修工事のため、会場を大津市勤労福祉センターに移し行いました。当日は文化庁より西和彦参事官のご臨席を賜り、滋賀県文化財保護課 菅原和之課長補佐をはじめ日向実行委員長、実行委員、本会より杉江副会長の出席のもと受講生15名を迎え開講式が執り行われました。開講式に引き続き第1回講座が行われ、当日の講師として京都工芸繊維大学 日向進名誉教授、文化庁文化財部 西和彦参事官、ひょうごヘリテージ機構 沢田伸氏の3講師より歴史的建造物活用に関する基本となる講義をいただきました。

第2回講座 開催日：平成29年9月16日 ピアザ淡海

第2回講座では前半に滋賀県文化財保護課 清水一徳主査より滋賀県内の文化財建造物の特徴と文化財建造物の保存修理の理念について講義をいただき、後半では著名な文化財建造物の修理事例として 京都工芸繊維大学大学院 田原幸夫特任教授による重文「東京駅丸ノ内本屋」の事例紹介を設計者として完成までのプロセスを講演していただきました。

第3回講座 開催日：平成29年10月7日 ピアザ淡海

第3回講座はこれからのHMとして活動するための実務講座として、横浜国立大学 大野敏教授による文化財建造物の調査と評価を中心に講義をいただき、講座終了前の1時間では、受講生がグループに分かれて第10回発表会に向けての活発な討議を行いました。

第4回講座 開催日：平成29年10月14日 東近江市五個荘金堂

第4回講座は現地演習として東近江市五個荘金堂にある「プラザ三方よし」を拠点にして東近江市歴史文化振興課 水谷 勝氏による重要伝統的建造物群保存地区（以降「重伝健」）金堂地区の取り組みについて現地見学を交え説明をいただきました。後半は京都大学大学院 増井正教授より歴史的建造物を生かしたまちづくりについて講義をいただきました。

第5回講座 開催日：平成29年10月21日 東近江市五個荘山本

第5回講座は建造物の調査と文化財としての評価演習を東近江市五個荘山本地区にある文化財建造物をお借りして実施しました。講師として京都市文化財保護課 石川祐一氏と柴山建築研究所 柴山直子氏に調査演習と評価手法の指導をいただき、受講生はグループに分かれ実務演習を行いました。

第6回講座 開催日：平成29年11月11日 ピアザ淡海

第6回講座は第3回講座に引き続き、横浜国立大学 大野敏教授による建造物の破損調査と修理計画についての講義と滋賀県文化財保護課 清水一徳氏による文化財建造物の日常点検・維持管理と周辺環境整備について学びました。

この後の講座ではHMに必要な実務、文化財建造物の耐震補強、保存活用計画策定について学び、第10回講座でのグループ調査研究「私が見つけた歴史的建造物の保存活用」の発表をもって本年のHM育成講座は修了となります。受講生の引き続きのご検討を期待するとともに、多くの修了者（HM認定者）が生まれることを祈念いたします。

公開講座のご案内

第10回講座「私が見つけた歴史的建造物の保存活用計画」発表会は公開講座として開催いたします。当日は記念講演として「比叡山延暦寺根本中堂改修工事」と県内でのHM修了者の活動報告を予定しております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第10回講座（公開講座）

開催日：平成30年1月20日 建設会館4階大ホール

午前9：00より発表会開始（入場無料）

※詳細は月刊「家」1月号に掲載予定



第1回講演1：沢田講師



第1回講座：日向講師



第1回講座：文化庁西岡講師



第2回講演2：田原講師



第2回講座：清水講師



第3回講座：大野講師



第4回講座：重伝健地区での現地研修



第4回講座：水谷講師



第4回講座：増井講師



第5回講座：現地演習(1)



第5回講座：現地演習(2)



第6回講座：グループ討議

滋賀県知事指定講習 指定申請中！
～建築士会継続能力開発（CPD）認定プログラム（2単位予定）～



より良い建築物をより上げるために「総合図作成ガイドライン」をご活用下さい！

設計・施工・設備・構造等の建築士および建築技術者(施工系・設備系)を対象に以下の内容にて「総合図作成ガイドライン解説講習会」の開催を予定しています。

詳細は本誌1月号に掲載しますので、ご予約に加えていただきますようご案内申し上げます。

開催日時：平成30年 1月30日(火)

受付：13:30～

講習：14:00～16:20

開催会場：ピアザ淡海 204会議室

受講料：一般(非会員) 5,000円(テキスト代、消費税含む) 建築士会会員 4,000円(テキスト代、消費税含む)

申込締切：平成30年 1月25日(木)

募集定員：40名

【時間割】

13:30～14:00	受 付	30分
14:00～14:10	あいさつ	10分
14:10～14:15	第1章 ガイドライン刊行の趣旨	5分
14:15～14:50	第2章 建築生産における総合図の役割	35分
14:50～15:10	第3章 総合図作成の流れ	20分
15:10～15:20	休 憩	10分
15:20～15:35	第4章 総合図作成の基本	15分
15:35～15:55	第5章 建築用途別総合図作成事例	20分
15:55～16:05	第6章 展望と課題	10分
16:05～16:20	意見交換	15分
16:20～	閉 会	

主催／公益社団法人日本建築士会連合会 主管／公益社団法人滋賀県建築士会

青年委員会

次世代育成事業 ～パスタブリッジ安曇川に未来の橋を架けよう～ 事業報告

若者の建築離れに歯止めをかけたい、建築士会会員としてできる地域貢献、そんな思いから県立安曇川高校の生徒との体験型学習を実現することができました。当初の予定だった10月は2週にわたる台風の影響で延期され、あらためて11月17日と20日の2日間にわたり、建築デザイン系列の2年生16名とともに開催することができました。

初日は、パワーポイントを用いて建築士による構造力学の授業を行いました。部材にかかる圧縮・引張応力などを写真やイラストを用いて説明し、建築物にかかる応力のイメージを持つことを伝えました。その後、8チームに分かれブリッジの計画図を作成しました。生徒たちは、意見を出し合いながら自由な発想で作図に取り組み、なかには放課後まで熱心に取り組む姿も見られました。

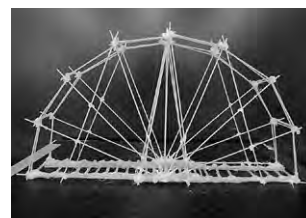
二日目は、初日の計画図をもとに、生徒と建築士が1つのチームとなって、乾燥パスタを順番に組み立てていきました。生徒の自由な発想と建築士の知識がうまくかみあい、午前中で8チームすべてのブリッジを完成することができました。午後からの計測実験では、完成したブリッジにバケツをぶら下げ、破壊されるまで重りを加えていき、耐荷重を競い合いました。ブリッジの自重100gに対して約4.0kgの耐荷重を得たチームが見事優勝しました。その他に、建築士が選ぶデザイン賞と学校長賞の3チームに表彰状を授与し、健闘の榮譽を称えました。

建築士が講師となり、次世代へ建築を伝えていく社会貢献活動として、たいへん貴重な体験をさせていただきました。また将来を担う未来の建築士たちに、設計・制作の楽しさを実感してもらい、建築の奥深さを伝えられる機会となりました。近い将来、一緒に仕事ができることを期待したいです。

青年委員・中村民雄



学生とパスタブリッジを作成する様子



デザイン賞作品



優勝作品



校長賞作品

あーき塾 まち歩き事業 ～Around Shiga vol.1 甲賀～報告



10月28日(土)に、あーき塾まち歩き事業～Around Shiga vol.1 甲賀～を開催しました。台風22号による影響を懸念していましたが、早朝より天気予報をチェックしながら、祈る思いで開催に踏み切りました。水口城資料館に集合し、まずは甲賀市水口町の歴史や文化を学んだのち、東海道水口宿のまち歩きが始まりました。

甲賀市のまち歩きガイドボランティアによる解説をいただきながら、午前中は水口教会・水口幼稚園・旧水口図書館といった東海道沿いのヴォーリス建築を中心に見学しました。古民家を改修したモダンな雰囲気ダイニングカフェで、昼食をいただきました。

午後からは、地元甲賀地域会の方にご紹介いただいた醤油屋さんの民家の奥深くまで見学させていただき、建築士会ならではの現場研修の時間となりました。さらに改修工事が予定されている旧富田呉服店も特別に見学させていただき、今後の活用ビジョンのお話を聞くことができ、まちづくりを学ぶ機会にもなりました。

その後は、鉤状に曲がる東海道を林口一里塚まで散策し、月刊「家」にも掲載された美富久酒造にて、酒蔵見学・日本酒の試飲などを楽しみ、全行程を終えました。

曇天～小雨の中でしたが、歩くことに支障をきたすほどの影響はなく、また甲賀地域会からも多くのご参加をいただき、たいへん有意義で楽しいまち歩きとなりました。

滋賀を知り、滋賀をもっと好きになる、参加者からはそんな声が聞こえてきました。

青年委員 川村 晃久



旧東海道街並散策



旧富田呉服店内での研修

あーき塾 まち歩き事業 ～Around Shiga vol.2 長浜～報告



11月18日(土)、あーき塾まち歩き事業～Around Shiga vol.2 長浜～を開催しました。あいにくの雨の中でしたが、20名の参加者ととともに、滋賀県第一小学校の開知学校（国指定登録有形文化財）からまち歩きをスタートしました。

開知学校を出てすぐに珍名所・長浜タワーを見ながら、電柱を埋設化した駅前通りを東進し、大通寺へ向かいました。大通寺職員・高堂氏の案内で、伏見桃山城の遺構と伝わる本堂、大広間など国の重要文化財や枯山水の庭園をゆっくり時間をかけて見学しました。

次に、細い路地の先にある長屋をリノベーションしたカフェ「どんどん」で、設計や施工の話を聞きながら暖をとりました。その後、ユネスコ無形文化遺産に登録された曳山が展示されている曳山博物館を訪れ、祭りの歴史や伝承、色とりどりの山車をボランティアガイドの安藤氏による解説を聞きながら見学しました。北国街道・ゆう壺番街といった通りを案内していただき、B級グルメのホワイト餃子やまるい食パンを食べ歩きながら、黒壁を中心とした街並みをゆっくりと散策し、昼食は長浜の郷土料理の鯖そうめんをいただきました。

午後からは、安藤家を訪れ、長浜豪商の名残である近代和風建築と北大路魯山人の作品を見学、明治天皇の行在所として建築し、その後迎賓館として活用された慶雲館も訪れました。ガラスアート展が開催されており、幻想的な作品を興味深く鑑賞し、全工程を終えました。

青年委員 小森正章



大通寺大広間にて



黒壁ガラス館前

湖北地区

平成29年度 親睦交流事業 「ゴルフコンペ及び親睦会」を開催

9月28日(木)名神八日市カントリー倶楽部にて、湖北地域会親睦交流事業「ゴルフコンペ&親睦会」を開催致しました。

お天気は少し心配しましたが、雨にあたることもなく(午後からは突風!)皆ベストスコアを目指しました。



80台のスコアで廻るセミプロから、今年初めてクラブを握った初心者まで、総勢6組24名の参加者で楽しく交流をはかることができました。ゴルフを通じマナーを学び、スポーツの楽しさについて会話が弾んでいました。優勝者は宮島さん 準優勝は坂井さん 3位は竹中さんでした。

コンペの後は、長浜太閤温泉 豊公荘にて成績発表を兼ねた親睦会。お酒を酌み交わしながら、会員の方々と大変盛り上がった楽しい1日となりました。



大津地区

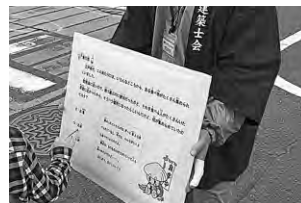
大津市・草津市 東海道統一案内看板の制作

10月1日(日)、大津市・草津市両市長、大津市議会・草津市議会両議長、びわこ大津草津景観推進協議会・東海道統一案内看板専門部会正副部長出席のもと、大津市京町通り沿いにて、東海道統一案内看板モデル看板の除幕式が行われました。公益社団法人滋賀県建築士会大津地区委員会・湖南地区委員会の寄贈によるものであり、両地区委員会においては、官民連携組織である同協議会東海道統一案内看板専門部会の運営にも参画をしてまいりました。

当日は両市に住まいされる親子を対象とした「景観づくりチャレンジ隊」もあわせて開催されました。平成23年度に実施された「近江八景でつながるびわ湖の風景～急がばまわれ瀬田の唐橋～」から数えて7回目となる両市との連携事業であり、三者協働に

よる景観保全と創造を記した「びわこ大津草津景観宣言」が両市長によって調印された意義をあらためて実感いたしました。

なお、草津市に寄贈された案内看板については、11月3日(金)に同市で開催された東海道草津宿シンポジウムにおいて、全国の宿場町でまちづくりに取り組まれている皆様にあらためて披露されました。



甲賀地区

秋のゴルフコンペ大会開催報告

10月26日(木)、秋のゴルフコンペ大会を開催致しました。

信楽カントリー倶楽部 田代コースをお借りし、平日にも関わらず県内各地より多数ご参加いただき、この誌面をお借りして、まずは御礼申し上げます。

10月後半は悪天候が続き、更には台風21号の影響もある中、一時は開催が危ぶまれましたが、当日は雲一つない晴天に恵まれ、清々しい秋晴れの下で日頃の練習の成果を発揮していただきました。

プレー終了後、表彰式を兼ねたパーティーでは参加者同士で懇親を深めていただき、大変有意義な一日となりました。

次回開催の際は、是非ともふるってご参加ください。

◆成績は下記の通りです。

優勝：竹内 義晴 (甲賀地域会)

準優勝：丸山 忠隆 (彦根地域会)

第3位：竹田 久志 (甲賀地域会)

(敬称略)



高島地区

平成29年度 研修旅行

高島地域会では11月5日(日)～6日(月)に研修旅行に行ってきました。1日目は“人と防災未来センター”、“野島断層保存館”、“福良港津波防災ステーション”(全て



姫路城にて熱心にガイドさんの話に聞き入る参加者

兵庫県)と防災関連の施設を見学し、過去の事例と今後起こる可能性のある災害に対する知識を深め、今から出来る限りの対策を学びました。

2日目は午前中に“姫

路城”(姫路市)を見学し、当時の歴史的背景や伝統的な構造工法を学び、午後には“大阪木材仲買会館”(大阪市)を見学し、構造材・仕上材ともに木材を利用しながら耐火構造を適用する新しい技術を学びました。また、淡路島の洲本温泉に宿泊し、会員同士の親睦を深めたり、情報交換が出来たことなど大変有意義な研修旅行でした。

青山靖典



遠藤秀平氏の設計による福良港津波防災ステーションで集合写真

情報広報委員会

2018年度フォトコンテスト作品募集

会員のみなさまの自慢の作品をお待ちしております。

作品のテーマ 「つどふ(集う)」・「フリー」(風景・建物などテーマは問いません)

応募資格 会員による自作作品とします。

応募作品 4つ切(カラー・モノクロ)、ワイドタイプ可、応募点数は問いませんが、作品は未発表のものに限ります。

賞金 大賞作品、入選作品には賞金を予定しています。

募集期間 平成29年12月～平成30年2月9日

審査 第9回「未来の家、未来のまち」子供立体作品展会場にご来場の方々の投票による審査とします。

発表 平成30年5月 機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表
(<http://www.kentikushikai.jp/>)

応募方法 下記応募票に必要事項をご記入していただき、作品の裏面に糊付けの上、(公社)滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にてお送りください。

送り先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
(公社)滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL. 077-522-1615

応募細則 1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。
2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は郵便切手(500円分)を同封頂ければ返却いたします。

主催団体 公益社団法人滋賀県建築士会

公益社団法人滋賀県建築士会2018年フォトコンテスト応募票

作品名		テーマ	
コメント			
応募者氏名		撮影場所	
会員氏名		撮影年	
住所	〒	連絡先TEL	

※取得した個人情報は、フォトコンテスト事業以外に使用いたしません。

滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ



コースNo.	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH011	ネットワーク工程管理技術	¥7,500	10	1/10(水)、13(土) ※日程変更	10:00～17:00
CH021	実践建築一般図・詳細図作成技術 (2次元CAD: AutoCAD編) New	¥7,000	10	1/14(日)、15(月) ※日程変更	10:00～17:00

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

お申し込みは各コースとも開始日の1カ月前までです。お早めにお申し込み下さい。

講座の内容については

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_h29.html

(電子パンフレット、建築・住宅関係コース、各講座の詳細へのリンクもあります)

ネットでの受講申し込みは

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html

受講申込書のダウンロードは

<http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H29/entry2017.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。

下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属

滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)

www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課 TEL: 0748-31-2254
FAX: 0748-31-2255

地区別会員数 (平成29年11月1日現在)	支部	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	湖西滋賀	計
	10月	203	154	81	125	88	132	65	29	877
	11月	209	153	80	121	89	132	66	28	878
	差引	6	▲1	▲1	▲4	1	0	1	▲1	1

12月の暦

1	金	大安		8	金	赤口	第60回 建築士全国大会「京都大会」	19	火	赤口	
2	土	赤口	第8回「ヘリテージマネージャー育成講座」あーき塾まち歩き事業～Around Shiga vol.3 堅田～青年委員会	9	土	先勝	第60回 建築士全国大会「京都大会」地域交流見学会(エクスカーション)	20	水	先勝	
3	日	先勝		10	日	友引		21	木	友引	ヘリテージマネージャー実行委員会
4	月	友引		11	月	先負	二級・木造 新規登録集中受付(～15日)	22	金	先負	
5	火	先負		12	火	仏滅		23	土	仏滅	天皇誕生日 第9回「ヘリテージマネージャー育成講座」
6	水	仏滅	情報広報委員会 四役会 理事会	13	水	大安	建築関係五団体長会議	24	日	大安	
7	木	大安	連合会理事・士会長会議 全国建築士フォーラム	14	木	赤口		25	月	赤口	
				15	金	先勝		26	火	先勝	
				16	土	友引		27	水	友引	
				17	日	先負		28	木	先負	仕事納め
				18	月	大安		29	金	仏滅	
								30	土	大安	
								31	日	赤口	

滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて 第18回 株式会社岡村本家(犬上郡豊郷町)

写真は創業時に建てられた一番蔵と呼ばれる木造蔵である。外観は美しく修復修理が施されている。全面道路に面した部分は旧事務所、奥の連なる2蔵は倉庫である。かつては3棟の連結の仕込み蔵であったが老朽化のため数年前解体されており今は基礎となる切り石が残されている。創業時はこの道路から北仕込みを行っていたが、現在は全てこの道路より南に仕込みは移されている。岡村本家と周辺では多くがリノベーションにより活用されているが、蔵のシンボルとなり得る最古の蔵をどのように活用されていくのか楽しみである。

代表銘柄:「長寿 金亀」「大星」

(前谷吉伸)

